

2022年度（第4期）事業報告

自 2022年1月1日

至 2022年12月31日

1. 会員数

(2022年12月31日現在)

団体会員 (14社)

個人会員 (39名)

2. 会議

(1) 総会：1回（リアルとオンラインの併用）

日時：2022年3月11日

場所：書面総会

議題 第1号議案 2021年度（第3期）事業報告承認の件

第2号議案 2021年度（第3期）収支決算報告承認の件

第3号議案 監査報告書に関する件（第3期）

第4号議案 2022年度（第4期）事業計画（案）承認の件

第5号議案 2022年度（第4期）収支予算（案）承認の件

(2) 運営委員会

開催できませんでした。

3. 事業概要

(1) 過年度のシンガポールからの招聘者との交流会

過年度の招聘事業で北海道を訪問した当時高校生の皆さんとの交流会（オンライン）を開催し、継続的な交流関係の構築を図る予定でしたが、開催できませんでした。

(2) セミナーとトークセッションの開催

最近のシンガポールの状況やシンガポールの文化などを知ることを目的に、2022年3月11日開催の総会に併せて、以下のようなセミナーとトークセッションを開催しました。

・話題提供

「Singlish in use 実用シングリッシュ講座入門編」

大森園代表 大森 由美子さん

・トークセッション

テーマ：「シンガポールの今」

出演者 和泉 晶裕さん（司会）

木本 晃さん

西村 理佐さん（シンガポールからオンライン参加）

原 文宏さん



【大森さんの話題提供】



【シンガポールと結んでのトークセッション】

(3) 「シンガポール日本語スピーチコンテスト2022」への参加について

「シンガポール日本語スピーチコンテスト2022」は、7月17日（日）に昨年同様にコンテストの様子をウェビナーで配信する形で開催されましたので、会員に参加方法をお知らせし、関心にある方にご参加いただきました。

北海道シンガポール友好協会は、本コンテストの協賛団体となっている。通常はコンテスト入賞者（高校の部）から3名程度を北海道へ招聘する事業を副賞として協賛していたが、招聘事業が実施できなかったことから、本年度はファイナリスト20名全員に、記念品として北海道の御菓子を贈呈しました。贈呈は、現地の日本人会にお願いしました。



【日本語スピーチコンテスト表彰式】



【参加者への記念品（柳月）】

2022年の各部の入賞者は、次の通りです。

2022年度 日本語スピーチコンテスト結果		
中学の部		
第1位	Ms Lee Hayoung	絶滅したくありません
第2位	Mr Zhu Yancun	人生の秘訣
第3位	Ms Loy Xing-Yi	本当に疲れます
高校の部		
第1位	Ms Jolene Yee Xin Yi	自分の体の声に耳を傾けよう
第2位	Ms Sheryl Ng	失われつつある日本の伝統文化ー海女さんのお話
第3位	Ms Xie Xiaoying	歌え、聴れ、感わせ
高等学府の部		
第1位	Ms Wu Nan	多様性を受け入れる社会の実現に向けて
第2位	Ms Stella Lim Xi Thong	あなたも魔法使いになれる
第3位	Ms Tang Shiyu	ソーシャルメディアからの「夏休み」
一般の部		
第1位	Ms Faye-Anne Ho	言葉を越える言語の力
第2位	Ms Chew Ye Qin	一番大切なことは、目に見えるように…
第3位	Mr Donovan Ng Zhancheng	日本の伝統的な物語: 狐の妖怪

また、7月「シンガポール日本語スピーチコンテストを見る会&交流会」を以下のような日程で開催し、録画を見ながらの、会員相互の交流を行いました。

「シンガポール日本語スピーチコンテストを見る会&交流会

開催日時：令和4年12月7日（金曜日）

- ・シンガポール日本スピーチコンテストを見る会
- ・交流会



【日本語スピーチコンテストを見る会】



【参加者で記念撮影】

(4) シンガポール日本語スピーチコンテスト2022入賞者招聘事業

入賞者招聘事業（ホームステイプログラム）については、COVID-19 感染状況や出入国管理の条件等の問題もあり、シンガポール日本語スピーチコンテスト実行委員会の判断から、実施しないこととなりました。

(5) シンガポールへの交流ツアーの企画実施

シンガポール及び日本の COVID-19 感染状況、出入国管理の条件や、シンガポール日本語スピーチコンテストにリアルに参加できないことになったため、北海道からシンガポールへの交流ツアーを企画できませんでした。

(6) ホームページの充実

ホームページの充実を図る予定でありましたが、事務局のマンパワー不足もあり、掲載内容を整理する段階で、公開にはいたっていない状況であり、2023年6月ぐらいに公開する予定で準備を行っています。

(7) その他

2022年度は、事業計画の中止・変更が多く、予定の活動ができない状況となったため、会費の収集を行いませんでした。